

市民のチカラ

市内で活躍する
さまざまな団体をご紹介します

武蔵野ワンワン パトロール隊



オレンジの腕章を付けて
愛犬の散歩がてらパト
ロールを行う織井さん
(左)と会員の方(右)

愛犬の散歩を通じて地域防犯に貢献

「武蔵野ワンワンパトロール隊(以下ワンパト)」が発足したのは2004年のこと。西久保公園や都立武蔵野中央公園周辺の愛犬家を中心となり、日々の愛犬の散歩とともに地域の防犯に目配りする活動を続けています。

「肩ひじを張ってパトロールだ、防犯だ、ということではなく、日課である愛犬の散歩をしながら、結果的に地域の防犯に役立てれば、というのが私たちのスタンスです。私は初代表の東さんに誘われて入会して、2代目代表の森安さんから引き継ぎ3代目を務めています」と現・代表の織井隆司さんは言います。

武蔵野市および近郊の愛犬家で構成された会員は現在約100名。警視庁から貸与されたパトロール用の腕章を付けて、各自が愛犬と散歩をしながらマイペースに活動をしています。これだけでも犯罪の抑止効果につながっていると考えられます。

「会員には不審者を見かけてもむやみに声を掛けず110番通報してくださいと呼び掛けています。ある女性会員が愛犬の散歩をしながらパトロールをしていた時、小学生の女の子から『ちよっと怖

いから一緒に帰ってほしい』と言われて家の近くまで一緒に帰ったそうですが、こういうことでも十分私たちの活動は地域の防犯に役立っているんだなと思いました」

愛犬の散歩中にごみを拾うワンパト独自のクリーンキャンペーンをはじめ、吉祥寺駅前で行われる歳末特別環境浄化推進パトロールなど市のイベントにも積極的に参加。日ごろの活動が評価され、警視總監からの感謝状や警察庁から「防犯功労団体賞」などが贈られています。

2006年には、市内初のドッグランが武蔵川公園に完成しましたが、近隣の方から犬の鳴き声に対する苦情もあると市から相談を受けたことから、定期的に「しつけ教室」を開催。愛犬のしつけとともに飼い主のマナー向上にも取り組んでいます。「町内会のない武蔵野市において、ワンパトは愛犬に関する情報交換や飼い主同士の親睦から生まれるコミュニティの場として貴重な存在だと思えます。現在、飼い主も愛犬も高齢化している中で、ぜひ若い方たちにも活動に加わってもらいたい。あとは市内にもっとドッグランが増えるとうれしいですね」

武蔵野ワンワンパトロール隊

2004年発足のボランティア団体。代表の織井隆司さんは、初代表の東さん、2代目代表の森安さんの思いを引き継ぎ、現在3代目。約100名の会員は武蔵野市および近郊に在住のさまざまな人員で構成されている。入会金は無料、年会費1000円(通信費やイベント費用を含む)。入会者にはパトロール用腕章の貸し出しと愛犬用の特製バンドナをプレゼント。



パトロールコースは会員にお任せ。日によって異なる場合も多々あります



定期的に行う「しつけ教室」の様子(西久保公園にて)